※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術 （分野：医療的ケア）	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	「改訂介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」（実教出版） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

医療的ケアを必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な医療的ケアを学びます。３年生では、演習や実技テスト、筆記テストなどを通じて、医療的ケアを必要とする利用者に対して安全で的確な喀痰吸引、経管栄養など介護福祉士として必要な専門的な知識や技術を身に付けます。

①医療的ケアの方法について興味や関心を持って授業に取り組み、医療的ケアの演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力や実践力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	医療的ケアを必要とする人やその医療的ケアの方法について関心を持ち、医療を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	高齢者や障がい者など医療的ケアを必要とする人の生活における諸問題の解決に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、専門職として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	医療的ケアを実践する際に必要な尊厳の保持の視点のもと基礎的・基本的な技術を身に付け、根拠にもとづいて安全に提供できる技術を適切に活用している。	医療的ケアを必要とする人を生活の観点からとらえた基礎的・基本的な知識を身に付け、高齢者や障がい者の尊厳を保持した適切かつ安全な医療的ケアの基本を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・実技テスト ・実技演習 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅱ部　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引	第Ⅱ部　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引 第3章　介護職員等による喀痰吸引のケア実施の手引き ①口腔内(通常手順) ②鼻腔内(通常手順) ③気管カニューレ内部(通常手順)	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:安全で正確な口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引の実施手順について探究しようとしている。 b: 口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引の手順の違いについて思考を深め、適切に表現している。 c:口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引の実施手順について、安全で適切に提供できる技術を身に付けている。 d:口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部における喀痰吸引のケア実施の手順について理解している。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・実技演習 ・実技テスト ・定期考査
2学期		第Ⅲ部　高齢者および障がい児・者の経管栄養 第1章　高齢者および障がい児・者の経管栄養概論 1 消化器のしくみとはたらき 2 消化・吸収とよくある消化器の症状 3 経管栄養とは 4 注入する内容に関する知識 5 経管栄養実施上の留意点について 6 子どもの経管栄養について 7 経管栄養に関する感染と予防 8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 9 経管栄養により生じる危険、事後の安全確認 10 急変・事故発生時の対応と事前対策	 ○ ○

※令和３年度以前入学生用

2学期		第2章　高齢者および障がい児・者の経管栄養実施手順解説 1　経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2　経管栄養の技術と留意点 3　経管栄養に必要なケア 4　報告および記録	 ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a:経管栄養実施にともなう利用者の身体変化について、探究しようとしている。 b:経管栄養実施前の利用者の準備（体位・姿勢・プライバシーの確保）について思考を深め、適切に表現している。 c:経管栄養に関する報告と記録について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:・経管栄養で用いる器具や器材のしくみと清潔保持の方法について理解している。 ・経管栄養の実施手順と経管栄養実施中の留意点を理解している。	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・定期考査
3学期		第3章　介護職員等による経管栄養のケア実施の手引き ①　胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 ②半固形化栄養剤による胃ろう(腸ろう)の経管栄養 ③　経鼻経管栄養	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:安全で正確な胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養の実施手順について探究しようとしている。 b: 胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養の手順の違いについて思考を深め、適切に表現している。 c:胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養の実施手順について、安全で適切に提供できる技術を身に付けている。 d:胃ろう（腸ろう）、経鼻における経管栄養のケア実施の手順について理解している。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・実技演習 ・実技テスト ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。